

## 成松 宏人

### 2 学術論文

- 1) Narimatsu H, Sakaguchi M, Nakamura S, Katayama K. Future Patient Incidence in Hemato-Oncology: A Study Using Data from Cancer Registries in Japan. Risk management and healthcare policy. 2020;13:2407-14. Epub 2020/11/12.
- 2) Sugawara Y, Murakami M, Narimatsu H. Use of Social Media by Hospitals and Clinics in Japan: Descriptive Study. JMIR Med Inform. 2020;8(11):e18666. Epub 2020/11/28.
- 3) Takeuchi K, Naito M, Kawai S, Tsukamoto M, Kadomatsu Y, Kubo Y, Okada R, Nagayoshi M, Tamura T, Hishida A, Nakatochi M, Sasakabe T, Hashimoto S, Eguchi H, Momozawa Y, Ikezaki H, Murata M, Furusyo N, Tanaka K, Hara M, Nishida Y, Matsuo K, Ito H, Oze I, Mikami H, Nakamura Y, Kusakabe M, Takezaki T, Ibusuki R, Shimoshikiryo I, Suzuki S, Nishiyama T, Watanabe M, Koyama T, Ozaki E, Watanabe I, Kuriki K, Kita Y, Ueshima H, Matsui K, Arisawa K, Uemura H, Katsuura-Kamano S, Nakamura S, Narimatsu H, Hamajima N, Tanaka H, Wakai K. Study profile of the Japan Multi-institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study. J Epidemiol. 2020. Epub 2020/09/24.
- 4) Watanabe K, Katayama K, Yoshioka T, Narimatsu H. Impact of individual background on the unmet needs of cancer survivors and caregivers - a mixed-methods analysis. BMC Cancer. 2020;20(1):263. Epub 2020/04/02.
- 5) Yasui M, Sakaguchi M, Jikuya R, Tsutsumi S, Tatenuma T, Noguchi G, Umemoto S, Katayama K, Narimatsu H, Uemura H, Kishida T. Comparative effectiveness of surgery and radiotherapy for survival of patients with clinically localized prostate cancer: A population-based coarsened exact matching retrospective cohort study. Oncol Lett. 2020;20(5):150. Epub 2020/09/17.
- 6) Okamura Y, Sugiura T, Ito T, Yamamoto Y, Ashida R, Ohgi K, Sasaki K, Narimatsu H, Uesaka K. The prognostic roles of the prognostic nutritional index in patients with intraductal papillary mucinous neoplasm. Sci Rep. 2021;11(1):568. Epub 2021/01/14.
- 7) Sato A, Haneda E, Suganuma N, Narimatsu H. Preliminary Screening for Hereditary Breast and Ovarian Cancer Using a Chatbot Augmented Intelligence Genetic Counselor: Development and Feasibility Study. JMIR Form Res. 2021;5(2):e25184. Epub 2021/02/06.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県生活習慣病対策委員会：委員
- 2) 神奈川県生活習慣病対策委員会委員会 がん・循環器病対策部会：委員
- 3) 神奈川 ME-BYO リビングラボ 専門委員
- 4) Member, WHO Clinical Consortium on Healthy Ageing
- 5) クロスアポイントとして

- ・神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん予防・情報学部 部長
- ・神奈川県立がんセンター 遺伝診療科 部長

## 5 社会貢献

- 1) 山形大学医学部・非常勤講師（個別化医療）
- 2) 帝京大学公衆衛生大学院・非常勤講師（医療管理学）
- 3) 横浜市立大学・非常勤講師（がんの疫学）
- 4) 非営利活動法人 地域健康プラン理事長

## 6 講演，放送

成松宏人 「シリーズ 統計学講義」 於 日本海総合病院 山形県酒田市  
2020年8月31日、9月16日、10月14日、11月16日、12月16日

BS-1 スペシャル 私たちのデジタル医療革命 2021 取材対応 NHK-BS-1 2021年  
1月2日放送

成松宏人 「疫学研究のつくりかた」 超入門・公衆衛生学講座 2020 年未病産業  
研究会有料講座 web 配信

## 7 学会等での活動

- 1) 羽田恵梨，佐藤杏，谷島和美，緒方文子，山内桂子，瀬畑善子，山中隆司，清水哲，  
成松宏人：がん医療の多職種連携における認定遺伝カウンセラー®の役割．第 26 回日  
本遺伝性腫瘍学会学術集会，[オンライン開催]，8/2020
- 2) 佐藤杏，羽田恵梨，瀬畑善子，菅沼伸康，山下年成，成松宏人：当院における遺伝性  
乳がん卵巣がん症候群の懇話会の取り組み．第 28 回日本乳癌学会学術総会，[オンラ  
イン開催]，10/2020
- 3) 長澤誠，中村翔，小熊祐子，齋藤義信，粕川隆士，成松宏人：HAL 腰タイプを使用し  
た運動プログラムがフレイル状態にある高齢者の運動 self efficacy への与える影響  
について 日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会 2020 [オンライン開  
催]
- 4) 中村翔，齋藤義信，成松宏人：Quality of life 関連指標と ME-BYO index との関連  
第 31 回 日本疫学会学術総会 令和 3 年 1 月 27 - 29 日（佐賀[オンライン開催]）
- 5) 齋藤義信，小熊祐子，今村晴彦，田島敬之，中村翔，成松宏人 フレイルと住民主体  
のグループ運動との関連：横断研究 第 31 回 日本疫学会学術総会 令和 3 年 1 月  
27 - 29 日（佐賀[オンライン開催]）
- 6) 市原青葉，小熊祐子，齋藤義信，成松宏人，中村翔，粕川隆士．ヘルスケアロボット  
HAL の運動プログラムが身体活動・身体機能に与える影響について．第 79 回日本  
公衆衛生学会総会．一般演題．令和 2 年 10 月 20 日（京都 [オンライン開催]）
- 7) 田中琴音，中村翔，中島啓，成松宏人．低血糖と抑うつ状態の関連第．31 回日本疫学  
会学術総会．オンデマンド口演．令和 3 年 1 月 27 - 29 日（佐賀[オンライン開催]）

## 8 学内教育活動

- 1) 疫学研究
- 2) 疫学演習
- 3) 臨床研究
- 4) ヘルスイノベーション演習基礎
- 5) ヘルスイノベーション演習

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 委員
- 2) 倫理委員会 委員
- 3) イノベーション政策研究センター研究員

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)  
データ包絡分析法を活用した個別化予防医療の開発  
(2017-2020 年度)  
代表: 成松宏人
- 2) 科学研究費助成事業 (科研費) 新学術領域研究「学術研究支援基盤形成」  
「コホート・生体試料支援プラットフォーム」  
(2016-2021 年度)  
分担: 成松宏人
- 3) 厚生労働省科学研究費補助金 (がん対策推進総合事業)  
全国がん登録とがん検診のリンケージによるがん検診勧奨  
(2018-2020 年度)  
代表: 成松宏人
- 4) 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)  
Peer Education による子宮頸がん及び HPV 関連がん予防教育プログラムの開発  
(2016-2020 年度)  
代表: 片山佳代子 分担: 成松宏人
- 5) 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (B)  
進行膵癌に対するがん化学療法の費用対効果に関する検討 (赤沢 学)  
(2019-2024 年度)  
代表: 赤沢 学 分担: 成松宏人
- 6) 中外製薬 がん予防・疫学および骨・関節領域における研究活動
- 7) タケダリサーチサポート 高血圧、糖尿病、脂質異常症の新規予防法および治療法開発を目的としたゲノムホート研究: 神奈川県みらい未病コホート研究
- 8) かながわ県立病院がん基金研究助成 AI を活用した家族性腫瘍拾い上げシステムの開発研究
- 9) ゲノムコホートデータを活用したイノベーション基盤の形成 ゲノムコホートデータを活用したイノベーション基盤の形成 文部科学省 地域イノベーション・エコシ

- ステム形成プログラム 神奈川発「ヘルスケア・ニューフロンティア」先導プロジェクト 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 代表研究者：成松宏人
- 10) ゲノムコホートを活用した COVID-19 に関する市中モニタリングと対策研究基盤知見などの創出、令和 2 年度先進異分野融合プロジェクト研究立案・推進事業 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 代表研究者：成松宏人
- 11) 未病指標の精緻化等に関する実証事業 神奈川県 リーダー 成松宏人

#### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 「グローバルヘルスに還元するがん対策：Kanagawa Shanghai 比較共同研究」ヘルスイノベーション推進研究費 代表
- 2) ヘルスイノベーション推進研究費、「デジタルピアサポート「みんなチャレ」の活用による行動変容や行動継続へのインパクトに関する研究」.(分担研究者)

#### 14 その他

##### <主な研究活動>

- 1) 神奈川県みらい未病コホート研究（神奈川県立がんセンター、日本多施設共同コホート研究（J-MICC 研究）、東北メディカルメガバンク機構との共同研究）
- 2) ME-BYO and ME-RISE プロジェクト（神奈川県みらい未病コホート研究の研究基盤を活用した探索的介入研究）
- (ア) データ包絡法分析を活用した予防医療プログラムの実証研究（山形県高島町、NPO 法人地域健康プラン、企業、神奈川県立がんセンター臨床研究所との共同研究）
- (イ) ヘルスケアロボット HAL を活用した介護予防の実証研究（慶應大学、企業との共同研究）
- (ウ) デジタルピアサポートアプリ「みんなチャレ」の行動変更へのインパクト評価に関する研究（企業との共同研究）
- (エ) 肥満の遺伝学的リスクスコアと食事・運動介入プログラムの効果に関する研究（企業との共同研究）
- (オ) 未病指標の精緻化等に関する実証事業等業務（神奈川県委託事業）
- (カ) 新型コロナウイルス抗体保有者の生活習慣や腸内環境を解析する研究（KISTEC および企業との共同研究）
- (キ) 新型コロナウイルス抗体保有者の生活習慣や栄養状態に関する研究（神奈川県立保健福祉大学栄養学科との共同研究）
- 3) 神奈川県がん登録管理責任者（地域がん登録および全国がん登録）（神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防情報学部 部長として）
- 4) がん登録データの活用研究
- (ア) がん検診精度管理事業（横浜市および横浜市医師会との共同事業）（神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防情報学部 部長として）
- (イ) グローバルヘルスに還元するがん対策：Kanagawa Shanghai 比較共同研究
- 5) 遺伝診療における AI チャットボットの開発と活用（神奈川県立がんセンター臨床研

研究所および同センター遺伝診療科および企業との共同研究)